



コンセプトチャルスキル/2日研修

Revised

政策形成基礎

カコミライワークショップで 地域の方向性を考える

- 本研修の概要とねらい
座学・WSを通じて、カコミライプレゼンを中心とした基礎的な政策提案スキルの獲得する。
- 主なコンテンツ
これからの自治体のあり方、政策形成に関する基礎的思考法、因果律の考え方、アウトプットの発見手法、カコミライワークショップによる政策思考の確認、ケーススタディなど。
(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)
- 演習/実習の内容
 - ・マシュマロを使ったタワーゲーム
 - ・カコミライワークショップ
 - ・ケーススタディ など多数
- 受講対象(推奨)
中堅～管理職
- 講師からの一言
次年度へむけてすぐに利活用できるワークシート、フレームワークをご提供します。

一般社団法人日本経営協会講師
細川 甚孝(ほそかわしげのり)

大学卒業後、CIS計画研究所入社。その後、官公庁の施策立案に関する調査・研究を主とし活動し、総合計画や行政改革、行政評価手法の策定等に尽力する。

その他、官公庁を中心とした地域活性化(農業振興・地域ブランド形成・コミュニティビジネス・観光戦略)や教育・産業振興(教育計画・生涯学習推進計画)なども企画から実際の策定(工程管理含む)を担当するなど、行政経営・地域活性化を専門としたコンサルタントとして活躍。

研修講師としても制度浸透等のために活躍し、現在は、政策プランナーとして全国にて各種指導を行っている。

本講師の他の研修

- 行政改革
- 地域振興
- 公共マーケティング
- 社会調査

政策形成基礎

2日研修タイムテーブル案

1日目 研修テーマ	主なコンテンツ	2日目研修テーマ	主なコンテンツ
1. 自治体レベルでの政策形成の必要性 (一部ワークショップを含む)	☞ 少子多死時代における自治体のあり方、求められる政策の考え方・あり方	7. 前回のおさらい	☞ カコミライワークショップを軸とした施策立案/政策マネジメントのありかた
2. 政策形成に関する基礎的思考法 (一部ワークショップを含む)	☞ 因果律(インプット・アウトプット・アウトカム)の考え方、PDCAの限界と再生の可能性、論証から政策に関する実験時代へ	8. 講師提供ケースによるケーススタディの実施	☞ カコミライの視点から課題のあり方
昼食		昼食	
3. アウトプットの発見手法 (一部ワークショップを含む)	☞ 数字・指標の使い方・分析の仕方、時系列分析・比較分析の使い方、RESASなどのオンラインデータベースの理解の仕方・使い方	8. 講師提供ケースによるケーススタディの実施 (午前の続き)	☞ 証拠獲得のための実験プロセスの形成、実施へ向けたスケジュールの作成、予算編成/行政評価のあり方
4. アウトカムの発見手法	☞ 循環分析の使い方・分析の仕方	9. まとめ・質疑応答	
5. インプットの発見手法 (一部ワークショップを含む)	☞ ヒアリング調査による隠れたインプットの分析手法		
6. カコミライワークショップによる政策思考の確認	☞ インプット・アウトプット・アウトカムを一連のフレームとして考える手法		

■本研修を受講した研修生の感想

◆政策形成のプロセスがよく分かりました。ケーススタディに取り組むことにより、実際の業務のイメージがもてました。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

◆一日目でミニワークショップをしながら論理・実践事例などの座学を行い、二日目ではワークショップでケーススタディを用いて学びます。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>